

# 見直し後の人事評価制度の運用状況

令和8年3月  
内閣官房内閣人事局

## ● 評語分布調査（令和5年10月～令和7年3月）

		卓越して 優秀	非常に優秀	優良	良好	やや不十分	不十分	
一般職員	能力評価 (R5.10～R6.9)	1.2%	17.1%	48.0%	33.2%	0.4%	0.1%	100.0%
	業績評価 (R6.10～R7.3)	1.8%	20.0%	46.4%	31.4%	0.4%	0.1%	100.0%

		A	B	C	
幹部職員	能力評価 (R5.10～R6.9)	89.9%	10.1%	0.0%	100.0%
	業績評価 (R6.10～R7.3)	88.3%	11.7%	0.0%	100.0%

(注)本調査は、府省等ごとに職員規模等に応じて抽出を行ったサンプル調査であって、本表の分布率は、府省等の母集団の数で復元した全府省等の合計から算出したものである。

2段階評価の職員については、甲評価はB評価、乙評価はC評価に含めて計上。

結果数値は、標章単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計は必ずしも一致しない。

# 【参考 1】

## 評語分布調査（平成30年10月～令和2年3月）

令和2年9月  
内閣官房内閣人事局

		S	A	B	C	D	
幹部職員	能力評価 (H30.10～R1.9)		88.5%	11.5%	0.0%		100.0%
	業績評価 (R1.10～R2.3)		85.7%	14.3%	0.0%		100.0%
	業績評価 (H31.4～R1.9)		85.7%	14.3%	0.0%		100.0%
一般職員	能力評価 (H30.10～R1.9)	9.1%	53.2%	37.2%	0.4%	0.0%	100.0%
	業績評価 (R1.10～R2.3)	11.2%	52.1%	36.3%	0.4%	0.1%	100.0%
	業績評価 (H31.4～R1.9)	10.0%	51.8%	37.8%	0.4%	0.0%	100.0%

# ● 評語区分を5段階から6段階に細分化等(令和4年10月)

【参考2】



一般の職員  
(6段階)

能力評価

業績評価

卓越して優秀

望ましい行動\*を上回る行動が常に確実にとられた／  
望ましい行動を大きく上回る行動がとられた

求められた役割を果たし、極めて重要又は困難な課題について、まれにみる顕著な成果・貢献等\*も見られた

非常に優秀

望ましい行動を上回る行動が頻繁にとられた

求められた役割を果たし、特に重要又は困難な課題について、非常に大きな成果・貢献等も見られた

優良

望ましい行動がとられ、  
それを上回る行動もしばしば見られた

求められた役割を果たし、  
しばしば期待を上回る成果・貢献等も見られた

良好

望ましい行動が基本的にとられた

基本的に、求められた水準の成果・貢献等を期待どおりあげ、  
求められた役割を果たした

やや不十分

望ましい行動が  
とられないことがやや多かった

求められた水準を下回る成果・貢献等であり、  
求められた役割を果たしていなかった

不十分

望ましい行動がとられていなかった

求められた成果・貢献等がほとんどなく、  
求められた役割を果たしていなかった

\* 望ましい行動：職位（課長、係長など）に応じた職務を、高い水準で遂行できるレベルの行動

\* 貢献等：組織として成果を上げるに当たっての貢献（周囲に対する支援といった自主的・積極的な取組等）、業務遂行に当たっての創意工夫、効率化等